

事業所名

リープ(児童発達支援)

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

20日

法人（事業所）理念		「尊敬」、「尊重」、「感謝」、「思いやり」						
支援方針		日常生活における基本的動作やマナーの習得、友だちとのやり取りを通して遊ぶ楽しさやルールを学び集団活動への適応能力を高めていきます。お子さまの個性や特性に応じた支援、就学に向けたサポートを行います。						
営業時間		平日	10	時	18	0分まで	送迎実施の有無	ありなし
		土、祝、長期休暇	9	0分	17			
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・日常生活動作及び手段の日常生活動作の獲得 ・本人の様子を観察し必要に応じて電話連絡や連絡帳にて情報交換を行い、安定した生活が送れるようにしていく。 ・定期的な心身の把握（毎日の観察・個別活動） ・身だしなみの整え方						
	運動・感覚	・感覚の特性への対応(リズム遊び、感覚教材、散歩、季節の制作、いろんな道具の使い方等) ・姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上(トランポリン、サーキット、マット運動、ビジョントレーニング等) ・集団指導の中で本人の有する能力を引き出し、現時点での発達を維持していけるよう各、運動やリズム運動等を取り入れて指導の反映していく。						
	認知・行動	・小集団での活動や遊びのなかで、適切な行動を習得する（認知の偏りに配慮する） ・こだわりや偏食に対応する ・空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定(スケジュールや時間の視覚化)						
	言語コミュニケーション	・挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・個々の有する能力に合わせて支援者が間に入り他者とのやりとりを見せることで関わり方を学べるよう指導に反映していく。						
	人間関係社会性	・小集団・集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ ・社会体験や地域交流の場を設ける ・自己理解、他者理解への支援						
家族支援		日々のやり取りや必要に応じて電話連絡等で連携することにより家族の不安や心配事を取り除いていく。				移行支援		
地域支援・地域連携		お子様の成長を見据え、顔の見える連携が関係機関で図れるようにしていく。				職員の質の向上	・定期的な会議、職員会議、活動会議の実施 ・職員の各種勉強会や研修への参加	
主な行事等		1月初詣、2月節分、3月花見、4月遠足、5月いちご狩り、6月紫陽花見学、7月川遊び、8月流しそうめん・社会科見学、9月防災訓練、10月ハロウィン、11月みかん狩り 12月避難訓練・炊き出し訓練・クリスマス会						